

## 事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月31日
2次評価日（課長等）	30年3月31日

1 事業名	学校体育施設開放管理事業			コード	113502	
2 担当部課	部等	教育部	課等	スポーツ振興課	作成者	小口 康生
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち			
	政策	文化・スポーツの振興	施策	スポーツの振興		
	予算科目	学校体育施設管理事業費	業務委託	なし（直営）		
	実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし		
	設置条例	岡谷市学校体育施設の開放に関する規則				

## ●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
施設の概要（簡潔に）	市内小中学校体育館・校庭等	
目的	対象者	市民等施設利用者
	意図	学校体育施設利用者が、安全・快適に利用できるよう、施設の適正な管理運営を行う。

5 施設の管理運営状況		
指定管理者	29年度指定管理料	円
施設における通常業務	学校体育施設の使用許可、使用料の徴収、使用の減免許可、使用予約調整会議、学校体育施設の維持管理	
事業の実施内容	<p>（29年度に施設で行った運営事業・自主事業など）</p> <p>月1回開催される予約調整会議等を通じ、利用マナーの周知徹底を図った。また、学校より利用団体のマナー違反についての報告があった場合には、随時利用責任者へ連絡し、利用マナーの向上に努めた。</p>	
前年度の課題への対応		

6 施設の利用状況	*①は貸館施設のみ対象（ただし年間開設日数は入力） *②・③はどちらかの欄に記入 *			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度（予算）
① 施設稼働率	65.1%	65.8%	67.9%	
年間開設日数（日）	360	359	359	359
1日の開設時間（時間）	72	66	66	66
年間利用可能時間（時間）	25,920	23,694	23,694	23,694
年間利用実績（時間）	16,873	15,602	16,100	
② 年間利用者数（人）	0	0	0	0
有料利用者数				
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数（件）	16,873	15,602	16,100	16,100
有料利用件数	4,251	4,047	4,550	4,550
無料利用件数	4,409	4,312	4,299	4,299
減免措置件数	8,213	7,243	7,251	7,251
④ 1日あたり利用者数、件数	46.9	43.5	44.8	44.8
⑤ 施設利用状況の説明				

## 7 コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	1,094,337	1,090,034	1,075,972	1,307,000
経常経費	1,094,337	1,090,034	1,075,972	1,307,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000
正規職員の人数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30
③ 合計コスト(①+②)	3,494,337	3,490,034	3,475,972	3,707,000
前年度比		99.9%	99.6%	106.6%
財源内訳				
一般財源	1,324,217	1,397,839	1,089,962	958,000
特定財源	2,170,120	2,092,195	2,386,010	2,749,000
* 特定財源の説明	施設使用料			
④ 施設使用料年間収入額	2,170,120	2,092,195	2,386,010	2,749,000
⑤ 年間減免措置額	5,860,570	5,492,755	5,308,396	5,308,396
⑥ 受益者負担割合	733.8%	695.8%	715.1%	616.5%
⑦ 活動一単位あたりコスト	207	224	216	
前年度比		108.0%	96.5%	
⑧ コストに関する補足説明				

## ●事業の評価 (CHECK)

### 8 妥当性評価

\* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

### 9 有効性評価

\* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1	
1日あたり利用者数、件数	前年度比 103.2%	
⑤ 施設使用料収入が増加した。	1	
施設使用料年間収入額	前年度比 114.0%	

## ●改善の内容 (ACTION)

### 10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	利用団体のマナー向上。	
改善方法	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	予約調整会議等を通じマナーの周知徹底を図るとともに、個々のケースに関しても適切な対応を実施する。 また、登録団体による利用マナーの向上を図る。	
改善開始時期	平成30年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
予定事業費	円	予定時期	
内容			

## 施設の維持管理コスト計算シート

事業名	113502	学校体育施設開放管理事業
-----	--------	--------------

## 1 施設の維持管理にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
消耗品費	271,520		271,520	体育館ランプ等
印刷製本費	25,920		25,920	使用申請書印刷
光熱水費	320,953		320,953	夜間照明
修繕料	319,860		319,860	小規模修繕
保険料	2,935		2,935	火災保険料
使用料及び賃借料	134,784		134,784	モップリース料
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	1,075,972	0	1,075,972	

## 2 施設の維持管理にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数	0.30		0.30
合計	2,400,000	0	2,400,000

人

円

## 3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
施設使用料	2,386,010		2,386,010	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	2,386,010	0	2,386,010	

## 4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	1,089,962	0	1,089,962

## 施設の運営コスト計算シート

事業名	113502	学校体育施設開放管理事業
-----	--------	--------------

## 1 施設の運営にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

## 2 施設の運営にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数			0.00
合計	0	0	0

人

円

## 3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

## 4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	0	0	0